

令和8年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

仁方中学校区 校番 1 学校名 呉市立仁方小学校

a 学校教育目標	自ら学び 心豊かな児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション)(学校の使命) 学校や郷土を誇りに思い、生涯にわたり生き抜く力【自己実現】や社会に貢献できる力【地域貢献】を身に付けた児童の育成 (ビジョン)(将来の学校像) ○生きる力(知・徳・体)を育成する学校 ○安全・安心な風土の高い学校 ○保護者・地域と協働し、信頼される学校
----------	----------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	○全国学力・学習状況調査では、全国平均は上回ったものの、国語科では昨年度に引き続き、話すこと・聞くことに課題が見られた。算数科では事象について文章で説明することに課題が見られた。課題改善の検証において、算数科では、数や言葉を用いて説明する問題の正答率が目標値よりも大きく下回った。標準学力調査では、国語科では、2・3・4年、算数科では2～5年が全国平均を下回っている。学習と生活をつなぎ、生きた学力を身に付けさせるためにも、その土台となる基礎学力を高めるための工夫に取り組んでいく必要がある。 ○体力向上の継続的な取組を実施し、体を動かす楽しさを実感させ、体力向上につなげていく。 ○規範意識を高め、学校や社会のルールやマナーを守ろうとする態度を育成する。 ○自己肯定感や、他者との関わりなど、アンケートによると高い割合で肯定的であるが、実感が伴っていないため、具体的な場面を想定しながら指導を行う。 ○教科と関連させた防災教育を行い、実践的な避難訓練を行う。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性・協働性 規範意識・公德心
-------------	------------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 自己実現	主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育てる。	①生活をよりよくしようと、自分の考えを表現する力を培う指導・支援	・生活場面や他教科等との関連を図った単元開発(仁方中学校区学習過程) ・児童生徒にとって身近な事象や生活場面からの教材開発 ・思考を促す発問の工夫 ・多様な表現方法の工夫 ・学びをつなげる振り返りの工夫	国語科・算数科市販テスト「思考力・判断力・表現力」75%以上の児童	80%						
		②基礎学力の定着と向上	・基礎学力の定着「スキルタイム」「キュービナ」 ・読書活動(読書タイム・週末家庭読書) ・学力の補充「スマイルタイム」 ・自主学習「くぐぐノート」 ・複数教員による個別の支援体制	国語科・算数科市販テスト40%未満の児童	0%						
		③体力の向上	・体育の授業におけるサーキット運動の導入 ・委員会の取組 ・朝の会の仁方ストレッチ	長座体前屈全国平均以上	60%						
** 豊かな心	自らを律し、他人を思いやる豊かな心を育てる。	①規範意識の向上	・黙想の徹底 ・無言掃除の徹底 ・ナイスな仁方っ子紹介カードの活用 ・生活目標の振り返り	「学校のきまりを守っている」児童	90%						
		②安全・安心な風土の高い学校	・いじめの未然防止のための共感的人間関係の構築 ・積極的に肯定的な声かけや評価	「学校へ行くのは楽しい。」と感じている児童	90%						
			・ナイスな仁方っ子紹介カードの活用 ・心葉っぱの活用 ・教職員からの肯定的評価や児童同士の相互評価 ・生活目標の振り返り	「困っていたり、一緒に活動したりしたときに、友達に助けられて、うれしい気持ちになったことがある。」と感じている児童	90%						
		③「自分の命は自分で守る」力の育成	・定期的なハザードマップの確認 ・土砂災害携帯マニュアルの確認 ・実践的な避難訓練の実施	「住んでいる地域に起こりやすい災害が分かる」児童	100%						
	「災害時に避難する場所や避難の仕方が分かる」児童		100%								
* 業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整備する。	「働きやすさ」と「働きがい」の両立	・学校体制づくり ・複数対応	心理的安全性が確保されていると感じている教職員(管理職を除く)	100%						
			・会議の精選・時間短縮や校内研修の計画的な実施	日々の業務の中で充実感を得られていると感じている教職員	100%						
		長時間勤務の削減	・ICTの活用と業務の効率化 ・退勤時間設定と遵守 ・月1回の定時退校日の設定	時間外勤務が月平均45時間以下の教職員	100%						

[k:評価]

A: 100% (目標達成) B: 80% (ほぼ達成) < 100
C: 60% (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60